

第 18 校目建設

『ラオスの桂林』ムアンソン村に

CSA がラオスに建設する 18 番目の学校はビエンチャン県バンビエン郡ムアンソン (Mouang xong) 村に建設することとなりました。



18 校目のムアンソン村小学校の建設地

CSA は 1 月 25 日に現地調査を行い、村の協力姿勢などを確認のうえ契約書に調印しました。

ムアンソン村は、ビエンチャンから約 150km ほど国道 13 号線を北上したところにあります。村の周囲には中国の桂林を連想させる山々と鍾乳洞、川下りのできる川があります。このため『ラオスの桂林』ともいわれ、外国人観光客の姿をよく見かけます。建設地から車で 3 分ほどの所に米軍の飛行場跡地があります。現在は更地になっていますが、観光用の飛行場として再使用する計画があるそうです。飛行場が再開されると人口が増え、学校の必要性はさらに高まるとのことでした。

調査は、村と学校の関係者から村の協力度合いなどを聞き取るなどの形で行いました。その結果、村は机、椅子の費用の一部負担、西日対策として植樹をすることを約束しました。

校舎は 7 メートル×6 メートルの広さの教室 5 室と同じ広さの校長（兼会議）室が作られます。完成は 6 月下旬の見込みです。

キープ高自力で対応を

建設資材への課税免除を要請

学校建設の契約に当たってラオス側から建設費の 2.8% 値上げ要請がありました。理由はドルに対するキープ高による目減りの補填です。CSA は 1 月 23 日と 25 日の二回にわたりラオス側と協議を行い、建築資材にかかる物品税の免税化などの政策的対応を強く求めました。ラオス側は関係大臣間でこの問題について協議することを明言しました。

また、学校建設募金に一人 1 万キープ(約 1 ドル)の協力を求めました。CSA の協力要請に困惑するラオス関係者に「日本でも同だ。誰もがすぐに協力してくれるわけではない。ここにいる日本の皆さんは、組合や町の人々に何度も、何度も頭を下げて協力をしていただいているのだ」と述べ、自助努力と資金集めの大変さを訴えました。

ラオス側との主な応答は以下の通りです。

C S A 貴省からの手紙の趣旨は、キープ高による目減り分を補填してほしいということか。

ラオス ドルで契約しているのでキープ高になり困っている。

C S A 日本も過去に同じような経験をした。日本は国を挙げてこれに対応した。皆さんは問題の解決のためにどのようなことをしたのか。

ラオス 輸入品はドルで支払うため差が出る。

C S A CSA は、ドルで支払いをしているので、差は発生しないのではないか。

ラオス 普通は、建設会社と交渉して行うのだが、今のままだと 2.8% の赤字になる。

C S A その赤字を埋めるためにどのような対策をしたのかを聴いているのだ。

ラオス 建設会社などと連絡を取って金額を決めている。

C S A 政府としては何もしていないということですね！？

ラオス はい。

C S A それなら学校建設資材に掛かる物品税などを無税にしてください。

ラオス 大きなプロジェクトならリストを出すと免税になるが、今回の学校建設は小さなプロジェクトなので難しい。毎年、一校でも事前に何校建設するという計画書を提出すれば免税にすることはできる。

C S A 教育省は「教育省を通してやれば無税にできる」と言っていたが、労働省ではなぜできないのか。

われわれは、皆さんの国の発展のために少しでもお役に立てればと

思って活動をしている。皆さんにはその認識がないのではないか。

ラオス 大臣を通じて関係大臣に話をする。

C S A CSAの資金は、日本にいる皆さんが職場の仲間や近所の人々に何度も頭を下げて貰っている大事なお金だ。それを分かってほしい。

皆さんも、いま一人1万キープ(約1ドル相当)われわれに寄付して下さい。

ラオス (一同、困惑の表情)

C S A なかなか出せないでしょう。日本でも同じです。その中で資金を集めてもらっていることを分かってほしい。

大臣との話を早急に進めてほしい。

ラオス 大至急、大臣と話をしてみる。

2007 ワーキング・スタディー・ツアー

タイ・ラオスで村人らと交流

2007年度のワーキング・スタディー・ツアーが1月18日から26日に渡り行われました。視察は、CSAの活動が、支援対象者の自立支援活動として無駄や無理がないかなどを点検するために行っています。今年は11人が参加しました。

タイでは、東北部のコーンケン県でダム建設のために移住した人々の自立に向けた活動などを視察しました。一方、ラオスではCSAが1995年に建設した第一校目のクッサンバット小学校、サンティパーブ高校寮などを視察しました。

訪問先では、現地関係者から活動状況などの説明を受けるとともに、救援衣類、ノート、鉛筆などを手渡し、綱引き、ボールゲーム、折り紙指導などで交流を図りました。

農業離れと雇用労働者の増加 タイ

タイでは、改めて貧富の格差の大きさに驚かされました。タイの人々はよく寄付をするそうです。しかし、公的な富の再配分に問題があるのか貧富の格差は拡大傾向にあります。タイの人口は約6240万人ですが、納税者数は600万人前後といわれています。少子高齢化が進んでいます。

こうした中で農民や高齢者、身体障害者の方々の自立に向けたさまざまな活動が行われています。それでも農業では生活が楽にならないため農業離れが進み、雇用労働者が増えているそうです。

生活状況に合わせた自立支援 タイ

今回訪問したタイ東北部はラオス、カンボジアと国境を接する地帯です。コーンケン県はラオスとの国境まで3時間ほどのところにあります。

ウボンラット・ダム社会開発センター・セクション・ファイブという施設は、この地域でのさまざまな自立活動の支援に力を注いでいます。特に力を入れているのは、ダム建設や洪水などで土地や住居を無くした人々の自立を支援する活動です。

施設内の畑では木の実から油をとるためにジャトパという木が栽培されていました。ジャトパの実30Kgから10リットルの油が採れ、月に4000バーツの収入があるそうです。油はディーゼル車に使われるそうです。

同施設では、高齢者、障害者、子供、貧困層などの弱者に対し、対象者の生活状況に合わせた複数のコースを設けて職業訓練などを行っています。

今回の訪問では2日間に渡って各地区の一村一品運動などの経済復興活動、孤児などを収容して面倒を見ているフォスターファミリー（仮家族）プロジェクトなどを見せていただきました。

訪問先では苦しい生活にもかかわらず、盛大かつ暖かな歓迎を受けました。



村人がつくった枕を受けとる長石さん

不可解な徴収 ラオス

タイのノンカーイからメコン川に架かる友好橋（オーストラリアが建設）を渡り、1月21日午後、ラオスに入国しました。入国審査の際に一人20バーツを徴収されました。この徴収が法に則ったものかどうかは些か疑問です。

ラオスではこのようなことが他にも行われています。たとえば、国道13号線ではビエンチャンから1時間ほどの小さな橋を渡る際も料金を取られます。ここには銃を持った人が立っていることもあります。

傷みの進む一番校 ラオス

1995年のクッサンバット村小学校（1番校＝ビエンチャン県）、1997年のコンケオ村小学校（3番校＝ビエンチャン県）、2002年のトンパンビライ村小学校（12番校＝ルアンパバーン県）を訪問しました。いずれも国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）

などの仲介で帰還難民の定住地に建設した学校です。

各村とも未舗装の道を 2 時間近く走ります。雨季になれば、その倍の時間がかかりそうな不便な地域です。建設から 12 年が経つクッサンバット小学校は雨漏りで天井板の腐食が進んでいました。しかし、村長らは「この 12 年間で一番良かったことは、学校を作ってもらったことで、子供たちが学べるようになったことです」と言っていました。屋根の修理については「お金がないので修理ができない」と困っていました。

クッサンバット小学校にて



訪問先の各校では生徒らと折り紙、綱引き、ボール運び競争などをして子供らとの交流を図りました。

折り紙の指導は言葉が通じないため、皆さん苦労していましたが一番充実した時間をすごしているように見受けられました。



綱引きとボール運び競争(トンパンビライ村小学校にて)

高校寮、好成績で有名に ラオス

2002 年から支援を行っているサンティパーブ高校寮は 1 月現在、89 名(うち女生徒 37 名)が入寮しています。毎年、全国規模の試験で多くの寮生が上位を占めています。昨年も数学と国語で寮生が全国 1 位になりました。

寮生が毎年好成績を収めるため、寮は有名になり、国内外から視察にくるお客さんが多くなっているそうです。

生徒と教職員との懇談では、訪問団員が「300 メートル以上もある船を造っている」などと、日本での仕事を紹介しました。また、日本地図を示すなどし

て、ラオスの国土と本州はほぼ同じであること。ラオスの全人口の倍近い1000万人以上の人々が東京に住んでいること。バスで10～11時間か



かるビエンチャン＝ルアンパバン間とほぼ同じ距離の東京＝新大阪間を新幹線は約2時間30分で走ること(ラオスには鉄道はありません)。広島と長崎の原爆の話などをしました。原爆の悲惨は学校で教えられているのか会場の空気が変わるものがありました。

広報活動の強化を 参加者アンケート

参加された皆さんに今後のCSAの活動のあり方についてお聞きしました。その結果、次のような意見が寄せられました。

支援の重点をラオスに移し、他国への支援を模索すべきではないか。

CSAの活動をより多くの人々に知っていただくためのツールを研究すべきだ。

組合員以外の一般の方々の参加を進めるために衣類の収集方法(時期、場所)、各種募金の受付方法などについて検討が必要だ。

高校の寮生の大学進学支援、日本留学の受け入れ等、難しいと思うが実現できたらと思う。

言葉の壁をどのように乗り切るかを検討すべきだ。

医療支援、病院、診療所の建設も。

衣類の募集を増やし、各単組で夏物、冬物等に仕分けしてもらってから送ってもらうようにしてはどうか。

中古衣類は必要なもの上位3つくらいを具体的に示して募集してはどうか。

1週間程度、現地の人々と一緒に現場に入り、支援活動を体験してもらう、というような支援活動に対する人材育成の機会を設ける(他に、現地活動は短期間だと難しいので長期で張り付くべきだ)。

中古衣類の募集の中に小さなぬいぐるみなどを加えてはどうか。
 現地で活動に携わっている人や恵まれない人たちを日本に招請してみ
 てはどうか(他に、日本へ
 現地担当者を常駐させ
 活動の企画・立案をさ
 せる)。

現地の役人、村の人々
 に自立のための方策を
 提言することが重要で
 はないか。

ツアーでの情報を精査
 して必要なものを必要
 な場所に支援すること。

訪問団員一同とタイの関係者
 (ウボンラット・ダム社会開発セ
 ンター・セクション・ファイブに
 て。後方はタイのプミボン国



王の肖像。国王は、黄色の曜日の日に誕生したことから、多くの国民が黄色の T シャツやポロ
 シャツ、ジャンパーなどを着用して国王に敬意を表している。訪問団も記念にいただいた T シャツ
 を着用してタイの各施設を訪問した。

平成 18 年度会計中間決算報告

3月16日の第147回常任理事会で平成18年度の中間決算報告が承認されま
 した。今回の決算は、平成18(2006)年8月1日から平成19(2007)年1月31
 日までの6ヵ月間の収入と支出の状況です。

この間に皆さんか
 らご協力いただいた
 募金は、輸送募金429
 万円、学校建設募金
 30万円、高校生支援
 募金118万円となり
 ました。また日本労働
 組合総連合会(連合)か
 ら2,000万円の『連合
 愛のカンパ』の寄贈を
 いただきました。

単位：円

支 出		収 入	
科 目	金 額	科 目	金 額
運 営 費 計	7,008,946	団 体 会 費	160,000
事 業 費 計	12893912	連合愛のカンパ金	20,000,000
次 期 繰 越 金	27,250,639	輸 送 募 金	4,289,963
		学 校 建 設 募 金	298,000
		高 校 生 支 援 募 金	1,181,000
		雑 収 入	42,829
		繰 越 金 収 入	21,181,705
合 計	47,153,497	合 計	47,153,497

皆様のご支援とご協力に感謝し、謹んで以下の通り報告いたします。

〔輸送募金明細表〕

平成18年8月1日～平成19年1月31日

団体名

(社)日本青年奉仕会様	¥5,000	JAはまゆう職員労組様	¥13,000
岩手友愛会様	¥10,000	クリコ栄養食品労組様	¥1,500
三菱重工山梨様	¥10,000	全郵政長崎鶴港支様	¥2,600
KYB(株)岐阜労組いきいきレィス様	¥42,655	ネットワーク豊島様	¥5,300
岡山電気軌道労組様	¥3,900	佐伯建設工業労組様	¥1,600
UIセソセン同盟東京都支部様	¥10,000	コーセー総合労組様	¥40,300
全石川島播磨重工労組様	¥30,000	(株)小僧寿し本部様	¥100,000
全郵政中野支磨中野北局分	¥1,000	国公総連関東東支	¥5,000
UIセソセン同盟北海道支部様	¥10,000	北陸電労石川中央分	¥5,000
全日空労組様	¥30,000	日清オイリオグループ	¥10,700
UIセソセン同盟沖縄県支	¥10,000	日本タクシー労組	¥6,622
JR連合様	¥30,000	全郵政労組様	¥10,000
東亜道路労組関東支	¥3,207	全郵政御坊郵便局支	¥800
全郵政呉西北支	¥5,000	日放労技研分会	¥3,200
全郵政京都市南支	¥6,800	三八五労組	¥10,000
全日本海員組合九州関門地方	¥2,400	東京電力労組埼玉総	¥210,096
全郵政火の国支	¥7,800	環境エシニアリンク	¥1,600
全石川島播磨重工労組相生	¥13,000	三菱自工労組	¥100,000
交通労連岩手県支	¥3,000	JAM 埼玉	¥50,000
全日本たばこ労組熊本支	¥11,050	国交省職員組合九州地	¥2,000
全日本郵政呉西南支	¥800	シチズン時計労組女性	¥100,000
三菱地所CSR推進部	¥20,000	自由往来の会	¥7,600
東京電力労組信濃川総支	¥5,000	UIセソセン同盟	¥2,596,309
千葉県教職員組合	¥1,600	全郵政熊本東支	¥1,300
全郵政北兵庫支	¥5,000	広島農協	¥2,600
北陸電力志賀原子力分会	¥3,200	研精舎	¥7,800
UIセソセン同盟福井県支	¥20,000	北陸電力労組手取分	¥1,300
鳥取県農協連	¥3,200	常磐交通	¥1,300
全郵政大阪中央郵便局支	¥1,600	三八五労組	¥72,300
全駐日東地区本	¥18,200	全郵政福島地方支	¥1,300
全日本海員組	¥10,000	リケン	¥13,000
JR総連	¥100,000	桐生信用金庫	¥1,300
理研機械労組	¥3,900	三次農協	¥1,300
東京電力労組松本総支	¥17,700	建研	¥1,300
全郵政大阪中央郵便局支	¥800	富士通システムソリューション	¥2,600
(財)国際労働財団	¥2,000	全郵政淡路支	¥800
全郵政徳島中央支	¥1,300	新潟友愛連絡	¥5,200
小計	¥509,912	東京私教	¥1,300
		小計	¥3,397,927

団体輸送募金合計

¥3,907,839



タイ(左)とラオス(右)に届いた救援衣類

(輸 送 募 金 明 細 表)							
平成18年8月1日 ~ 平成19年1月31日							
個人名							
根 本 良 作 様	¥3,000	中 村 み よ 子 様	¥1,300	野 本 登 美 江 様	¥2,000		
荒 川 巖 様	¥1,000	村 尾 典 子 様	¥1,300	官野田志子・合口様	¥5,000		
村 上 昇 様	¥3,000	佐々木富士子様	¥2,000	佃 紀 子 様	¥5,000		
牧 野 昭 子 様	¥2,000	間々田信子様	¥1,400	和 田 百 予 様	¥2,000		
鎌 先 士 郎 様	¥10,000	飯 島 明 子 様	¥3,000	渡 辺 千 代 子 様	¥2,100		
中 西 一 様	¥1,000	国 分 ス ミ 子 様	¥2,000	布 施 マ サ 様	¥1,000		
鎌 滝 博 雄 様	¥10,000	加 藤 和 美 様	¥1,300	兼 子 幸 子 様	¥10,000		
高 澤 園 江 様	¥3,000	矢 田 凡 久 様	¥3,000	迫 井 真 澄 様	¥1,000		
熊 崎 清 子 様	¥3,000	野 村 み ど り 様	¥2,600	石 川 美 香 様	¥800		
柳 沢 鍊 造 様	¥3,000	下 西 磯 夫 様	¥1,000	加 藤 恵 美 子 様	¥1,000		
間 宮 悠 紀 雄 様	¥3,000	澤 田 ラ ク 子 様	¥2,000	兵 頭 章 様	¥4,000		
金 杉 秀 信 様	¥5,000	稲 川 和 男 様	¥1,000	山 口 政 市 様	¥1,000		
日 下 信 夫 様	¥2,000	高 橋 良 枝 様	¥1,300	舛 田 広 子 様	¥2,000		
内 田 進 午 様	¥5,000	佐 藤 信 平 様	¥1,300	杉 浦 勝 郎 様	¥1,300		
岡 田 育 栄 様	¥1,000	奥 寺 千 恵 子 様	¥1,600	金 田 桃 子 様	¥3,000		
鶴 間 由 紀 子 様	¥2,000	田 中 妙 子 様	¥6,000	谷 口 順 子 様	¥1,000		
石 田 の り 子 様	¥5,000	根 本 百 子 様	¥2,000	武 川 伸 一 様	¥1,500		
越 智 勝 様	¥1,000	山 岸 沙 緒 里 様	¥1,800	木 下 ふ さ の 様	¥2,100		
真 田 貴 江 様	¥2,000	川 原 崎 明 子 様	¥3,600	永 井 武 義 様	¥2,000		
平 沢 初 恵 様	¥1,300	尾 崎 路 子 様	¥1,000	山 田 さ さ え 様	¥5,000		
渡 邊 広 明 様	¥3,000	藤 原 基 司 様	¥1,000	柏 木 敦 子 様	¥2,000		
三 沢 育 子 様	¥2,000	数 本 和 子 様	¥800	畑 郁 子 様	¥1,474		
渡 部 ひ ろ 美 様	¥5,000	窪 田 哲 夫 様	¥800	山 本 ち づ か 様	¥2,000		
吉 澤 ト ミ 子 様	¥5,000	和 田 昭 文 様	¥800	奥 広 幸 子 様	¥1,300		
水 谷 正 栄 様	¥1,300	嶋 田 明 子 様	¥1,300	中 島 圭 子 様	¥5,000		
石 田 節 美 様	¥1,000	岸 本 久 子 様	¥3,900	芳 賀 綾 子 様	¥3,000		
中 谷 由 紀 様	¥1,000	齋 藤 由 美 子 様	¥1,300	川 口 美 奈 子 様	¥2,000		
山 崎 安 太 郎 様	¥1,000	寺 田 も と 子 様	¥1,000	金 杉 秀 信 様	¥5,000		
原 茂 子 様	¥2,000	打 田 照 純 様	¥800	飛 田 徹 夫 様	¥1,000		
風 千 恵 子 様	¥3,000	古 賀 由 美 子 様	¥1,000	渡 辺 和 子 様	¥2,000		
池 脇 敏 孝 様	¥3,000	宇 佐 川 雄 也 様	¥2,000	大 西 武 司 様	¥2,000		
西 井 誠 様	¥1,300	荒 井 良 三 様	¥2,000	伊 東 啓 子 様	¥4,000		
丹 藤 佐 知 子 様	¥3,000	池 田 恵 子 様	¥3,000	齋 藤 幾 子 様	¥1,000		
白 川 道 子 様	¥3,000	小 池 孔 子 様	¥1,300	齋 藤 美 穂 子 様	¥3,000		
松 本 の ぶ 孔 様	¥2,000	清 水 茂 様	¥2,000	鈴 木 悠 子 様	¥2,000		
井 野 鈴 代 様	¥1,300	菊 地 孝 子 様	¥3,000	中 津 佳 行 様	¥800		
田 村 邦 男 様	¥800	今 村 清 子 様	¥3,000	鴨 脚 久 子 様	¥10,000		
菅 波 幸 一 様	¥1,600	山 田 小 由 紀 様	¥2,000	井 上 和 枝 様	¥5,000		
中 村 華 里 様	¥800	永 峯 さ ゆ り 様	¥1,300	野 口 敞 也 様	¥3,000		
村 岡 悦 子 様	¥2,000	倉 持 恵 子 様	¥2,000	佐 々 木 芳 也 様	¥1,300		
大 野 慶 子 様	¥1,300	山 形 明 美 様	¥3,000	加 藤 正 子 様	¥5,000		
柿 木 健 一 郎 様	¥1,000	森 口 美 恵 様	¥800	加 藤 道 子 様	¥2,000		
蜂 須 兼 次 様	¥1,300	川 崎 鈴 江 様	¥1,300	原 照 雄 様	¥5,000		
廣 野 教 子 様	¥1,000	坂 田 恵 美 子 様	¥1,500	佐 藤 信 平 様	¥1,000		
中 村 誠 様	¥3,000	細 矢 祐 子 様	¥1,600	月 岡 智 子 様	¥3,000		
鈴 木 妙 子 様	¥1,300	田 村 正 美 様	¥1,600	澤 畑 あ ゆ み 様	¥800		
玉 木 き ぬ 子 様	¥1,300	紙 屋 恵 美 子 様	¥1,000	正 木 靖 子 様	¥5,000		
秋 山 真 紀 子 様	¥1,300	吉 本 八 郎 子 様	¥2,000	梶 田 實 様	¥2,000		
三 好 里 美 様	¥1,000	真 中 幸 恵 様	¥1,300	武 藤 広 通 様	¥1,300		
松 枝 正 子 様	¥1,500	近 沢 博 子 様	¥5,200	高 橋 順 様	¥2,000		
北 村 政 野 様	¥2,100	石 川 明 美 様	¥2,000	山 岸 悦 子 様	¥2,000		
柴 慎 一 様	¥4,600	影 山 照 雄 様	¥1,300	太 田 良 子 様	¥3,000		
加 賀 範 子 様	¥1,050	野 村 俊 子 様	¥2,000	矢 口 喜 代 子 様	¥2,000		
久 保 和 子 様	¥1,300	篠 原 朋 子 様	¥5,000	橋 内 久 美 様	¥1,500		
小計	¥132,450	小計	¥104,400	小計	¥145,274		
		個人輸送募金合計	¥382,124				
		輸送募金個人・団体合計	¥4,289,963				

(学 校 建 設 募 金 明 細 表)

平成18年8月1日～平成19年1月31日

個人名		金額	団体名		金額
多	田 と よ	子 様	関 東 西 濃 運 輸 労 組 様		¥5,000
し	み	ず 様	北 海 道 中 央 ハ イ 入 様		¥10,000
井	上 一	美 様	日 本 交 通 大 阪 地 区 労 組 様		¥3,000
伊	東 啓	子 様	頸 城 ハ イ ヤ - 労 組 様		¥5,000
伊	藤 祐	禎 様	昭 和 ハ イ 入 労 組 様		¥5,000
			中 越 労 組 様		¥10,000
			山 形 セ ロ ッ ク ス 労 組 様		¥1,000
			常 磐 交 通 労 組 様		¥10,000
			岡 山 県 貨 物 運 送 労 組 様		¥10,000
			三 重 西 濃 運 輸 労 組 様		¥3,000
			全 郵 政 労 組 様		¥10,000
			三 菱 自 工 労 組 様		¥100,000
			第 一 貨 物 労 組 様		¥10,000
			交 通 労 連 中 国 総 支 部 様		¥5,000
			青 年 ・ 女 性 委 員 会 様		
			石 川 島 播 磨 重 工 業 労 組 様		¥24,000
			武 蔵 支 部 様		
			全 日 空 労 組 様		¥30,000
			日 教 組 和 歌 山 様		¥10,000
			常 磐 交 通 労 組 様		¥3,000
			全 郵 政 柏 崎 支 部 様		¥5,000
個人学校建設募金:		¥39,000	団体学校建設募金:		¥259,000

団体・個人 学校建設募金総合計: ¥298,000

第 16 校目のナクン小学校(06年7月寄贈)





サンティパーブ高校寮。手前上下が男子寮、奥は女子寮

(高校生支援募金)

平成18年8月1日～平成19年1月31日

個人名				団体名			
伊藤	藤 祐	禎	様	¥30,000	UIセンション同盟鹿児島県支部	様	¥10,000
矢野	田 凡	久	様	¥5,000	城北タクシ-労組	様	¥2,000
浅利	利 武	男	様	¥2,000	岡山電気軌道労組	様	¥3,000
中根	西 良	一	様	¥1,000	神交運辻堂交通支部	様	¥3,000
黒本	沢 博	道	様	¥3,000	電源開発労組	様	¥100,000
石塚	塚 明	子	様	¥1,000	JAM	様	¥300,000
溝瀨	瀨 信	子	様	¥2,000	佐世保重工労組	様	¥5,000
祐成	成 善	次	様	¥3,000	大野観光自動車労組	様	¥3,000
上柳	條 義	昭	様	¥20,000	栗林海陸輸送労組	様	¥5,000
鷹島	沢 鍊	造	様	¥3,000	UIセンション同盟北海道支部	様	¥10,000
関戸	島 重	雄	様	¥3,000	東海興業労組大阪支部	様	¥1,000
渡久	山 正	彦	様	¥3,000	UIセンション同盟栃木県支部	様	¥3,000
金杉	久 山 長	輝	様	¥5,000	安藤技研G労組	様	¥10,000
曾我	杉 秀	信	様	¥5,000	基幹労連	様	¥200,000
川崎	我 部 公	子	様	¥1,000	住友重機械労連	様	¥100,000
上野	崎 鈴	江	様	¥3,000			
山川	野 真	美	様	¥2,000			
山崎	村 栄	蔵	様	¥1,000			
萬家	崎 安 太	郎	様	¥1,000			
西田	家 重	明	様	¥3,000			
根岸	田 八	郎	様	¥5,000			
迫井	岸 梅 太	郎	様	¥1,000			
村森	井 真	澄	様	¥1,000			
川原	成 上 忠	昇	様	¥3,000			
渡辺	森 成 忠	勇	様	¥5,000			
吉田	川 原 崎 明	子	様	¥3,000			
伊東	渡 辺 和	子	様	¥2,000			
平沢	吉 田 止 久	子	様	¥3,000			
飯塚	伊 東 啓	子	様	¥3,000			
	平 沢 初	恵	様	¥300,000			
	飯 塚 寿	子	様	¥2,000			
小計				¥426,000	小計		¥755,000

個人高校生支援募金: ¥426,000

団体高校生支援募金: ¥755,000

個人・団体高校生支援募金: ¥1,181,000